

第1章 都市景観形成の基本的な考え方

1-1. 倉敷市の景観づくりの基本理念

瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、

伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくり

倉敷市は、瀬戸内のおだやかな風土と高梁川がもたらす豊かな大地に恵まれ、瀬戸内海国立公園の鷲羽山、王子が岳、由加山などわが国を代表する景勝地や、円通寺や由加神社、蓮台寺、熊野神社などの寺社や古代吉備ゆかりの遺跡などの地域の歴史を感じさせる文化遺産など多様な美しい景観が広がっています。

このような多様な歴史と自然が織りなす美しい景観は、倉敷市の魅力であり、今後も歴史的資産を活用するとともに、自然環境と調和した『都市美』を創出していくことが求められます。

こうした恵まれた地勢・風土を背景に、古くから人々が住む生活の舞台として、人々の暮らしとともに長い時間をかけて固有の歴史・文化が蓄積され、今日の倉敷市の都市景観が形成されています。

先人達が守り、育て、つくりあげてきたかけがえのない自然、歴史文化を継承するとともに、人々の五感、記憶を通じて、『ふるさと景観』として共感できる倉敷市の姿として将来に伝えていくことが大切です。

美しく優れた景観は、地域の個性を表現するとともに、快適な環境をつくり、市民生活に潤いを与え、私たちに都市への愛着や誇りを感じさせるものです。さらに、個性的な景観は都市全体のイメージを向上させ、都市の魅力を高め、地域社会の活性化にもつながっています。

今後さらに、地域の特性を活かした『固有の美』を尊重した生活環境の創造を目指し、風格のあるいきいきとした都市景観の形成に努めていきます。

また、地球温暖化等、地球環境問題への関心が高まる中、環境への負荷の軽減や生態系への配慮など、低炭素・環境共生型の持続可能なまちづくりが求められています。

都市景観の形成においても、こうした将来に環境負荷を残さない持続的発展の可能なまちづくりに資するよう、自然環境に配慮しつつ、暮らしに優しい潤いのある緑豊かで快適な都市づくりを進めていきます。

1-2. 基本目標

1 豊かな自然環境のなかに歴史的資産が生きる都市景観づくり

市街地周辺に広がる緑豊かで緩やかな丘陵地や瀬戸内海の島々、そして豊かな恵みの高梁川水系を背景に、古くから市民の生活・活動の場が形成され、自然環境と歴史的資産が調和した深みのある都市景観は、倉敷市の景観の基調をなすものであり、こうした自然景観や町並み景観を伝統的な地域の風景として継承し、将来にわたって、その価値を高めていくことが大切です。

倉敷市の美しい町並みを保全・継承・発展させていくために、自然環境と歴史的資産が一体となった歴史都市にふさわしい都市景観の形成を目指します。

2 地域の成り立ちを大切にした風格のある都市景観づくり

市内の各所に残る史跡や遺産、歴史的な町並みなど、地域それぞれに歴史や文化を今に語り継ぐ多様な資源があり、まちの個性を形づくっています。こうした古くから継承されてきた資源を、現代の暮らしや活動のなかに引き継いでいくことで、生活の舞台である地域ごとにその自然や歴史・文化が息づくとともに、歴史・文化を背景とした固有の景観が生まれ、地域への愛着や誇りが醸成されます。

こうした地域ごとの個性を活かし、地域に根ざした歴史・文化の香りただよう風格ある景観まちづくりを進め、都市全体の魅力の向上につなげます。

3 多彩な景観資源や個性を尊重した魅力ある都市景観づくり

地域ごとの自然や歴史・文化を尊重するとともに、緑や水、建造物など、人々に親しまれている多彩な景観資源や、それによって醸し出される地域の個性を活かした都市景観の形成を目指します。

さらに、こうした資源や個性を引き立てながら、全体として景観的な秩序と調和を基調とした魅力ある都市景観づくりを進めます。

4 暮らしのなかのいきいきとした都市景観づくり

良好な景観は、観光振興や市民交流の促進に大きな役割を担い、まちの活性化につながるものでもあります。美しい都市景観を創り育てていくことで、生活環境の向上やまちの活性化につなげていきます。

5 人と人とのつながりによって育まれる都市景観づくり

人々の暮らしや活動を通じてより良い景観が創り出されることにより、より一層、市民の地域への愛着が深まります。したがって、市民や事業者の提案や活動により、地区の景観づくりが行われ発展していくことが大切で、これを支えていく仕組みづくりに取り組みます。

1-3. 基本姿勢

倉敷市の良好な景観を形成していくために、次のような姿勢を基本に、市民・NPO・事業者・行政が協働で取り組み、景観づくりを実現していくこととします。

(1) 取組の基本的考え方

1) まもる (いいものを保全する、活用する)

倉敷市の景観を特徴づける要素や、地域ごとの良好な景観を構成する優れた資源・要素等の価値を市民・NPO・事業者・行政が認識・共有するとともに、今に残る良好な景観を保ちます。また、これらを地域の生活や活動の中で活用していくとともに、さらに引き立てていくことで地域の景観をより良いものに発展させていきます。

2) なおす (悪いものを取り除く、改善する、整える)

眺望の開けた風景や優れた景観を有する施設等の背景としてなじまないものや、地域・町並み景観に調和しないものや阻害するものを排除し、良好な景観として整えていきます。また、様々な要素が織りなし良好な景観を形成している地域の秩序を守り、調和するように配慮するとともに、適切な誘導を行います。

3) つくる (いいものを創る、育成する)

地域の個性や生活・文化に根ざす固有の美を尊重し、倉敷市らしい洗練された美しい都市景観・町並み景観の形成に努めていきます。また、全体として基調が整い秩序ある中で、場合によっては、「めりはり」をつけた、飽きの来ない景観づくりにも努めます。

広く市民が利用する公共性の高い空間などの質を高めていくとともに、適切な維持管理等を行い、都市・地域の良好なイメージの醸成につなげていきます。

(2) 推進していくための基本的考え方

日々の暮らしや活動の中からまちの美しさ、都市の美しさは生まれるものであり、人々の活動によって、より良い景観が形成され育まれていきます。

そのために、市民の景観づくりに関する意識の醸成を図るとともに、情報を共有化し、景観づくりについての熟度や地域の実情に応じて景観まちづくりを支援し、倉敷市らしい景観の形成に取り組めます。

